

「都構想」反対は民意

井上氏、陳情採択求める

大阪市議会

日本共産党の井上浩大阪
市議は23日の市議会財政総
務委員会で、大阪市廃止の

「都構想」住民投票に向け
た「法定協議会」設置に反
対する複数の陳情を取り上
げ「2度実施された住民投



意見表明する井上氏
23日、大阪市議会

票で示された民意の重みを
しっかりと受け止めて、市民
が主役の市政を進めるべ
き」と意見表明し、採択
を求めました。

井上氏は「議会の多数の
勢力、そのときの権力側の
思いを押し通すために何度
も住民投票をやるのは許さ
れない」と批判。「大阪市
をよくしたいという人の思
いを逆手にとって、統治機
構の問題にすり替えている
のが『大阪市廃止・分割構
想』だ」と指摘しました。

井上氏は、東京都の特別
区制度が持つ問題点にもふ

れ「求められているのは政
治の中身を変えること。大
阪市廃止は自治の発想では
なく統治の発想。国から地
方へ、府県から基礎自治体
への地方分権の流れに背く
ものであり時代逆行もはな
はだしい」と主張しました。
共産・自民・公明が採択
を求めましたが、維新の反
対多数で不採択となりました。